

東京大学運動会相撲部



巨体同士が激突する

テレビの大相撲のイメージは捨てるほしい。

大学で我々がとる相撲は

「学生相撲」と呼ばれ、

体が小さくても優勝できるし、
太らなくても活躍できる。

心技体を総動員して

相手に立ち向かう、

やればやるほど

奥の深い世界が、

ここにはある。



部長挨拶

1982 年度卒部 東京大学大学院法学政治学研究科教授
新田一郎

相撲をとってみよう。

そういわれても大概の人は、力士たちの巨体が激突する光景を思い浮かべて、他人事と思うだろう。だがこの際、大相撲のイメージはいったん脇へ置いておこう。

マワシを締め、道具は使わず、相手を倒すか、直径 4.55m の円から外に出せば勝ち。

そのために体重も腕力も武器になる。スピードや、相手の力をかわしたりバランスを崩す技術も効果的。

離れるか組むか食いつくか、間合いの取り方もさまざまだ。ルールによる制約が少なく、

他競技の技術の応用可能性も広いが、相手を痛めつけても得にならない安全な競技でもある。

こんな条件のもと、大きい者は大きいなりの、小さい者は小さいなりの、どんな工夫を凝らそうか。

相撲をとってみよう。体重別の試合での活躍をめざすもよし、無差別の試合で巨漢に挑戦するもよし。

大相撲ファンの知らない、「する」スポーツとしての相撲の世界。

そこには、まだまだ探索の余地が多分に残されている。



主将挨拶

2012 年度主将 経済学部 原田真樹

我々東京大学運動会相撲部は国公立大会での団体優勝、

そして高校までに活躍を収めてきた選手に勝つことを目標として日々の稽古に励んでいます。

私自身、入部当初は全く未経験の相撲という競技を大学から始めることについて

不安がなかったわけではありません。しかし充実した稽古環境と日々の稽古のおかげで、

国公立大会団体準優勝や東日本体重別 75kg 級 3 位という結果をこれまで残してきました。

同じ境遇にある大学の中でトップクラスになれたこと、

大学からはじめて経験者込みの大会で上位入賞を果たせたこと、

これらは相撲部に入ったことでしか得られなかった財産です。

大学で何に取り組むか悩んでいる皆さん、是非相撲部の扉を叩いて下さい。

あなた自身の活躍の足跡が今年の相撲部の活躍の足跡となるのです。

そして、「勝利」という感動の瞬間を共にしましょう。



自由な活動スタイル

財団法人

日本相撲

勉強やサークルと両立できる！

週3回（月水土）を基本とする少ない稽古回数で集中して練習しています。学業や趣味、バイトとの両立は十分可能で、サークルと掛け持ちしている部員もいます。部活動への拘束は少なく、授業優先のため、稽古への途中参加も大丈夫です。個人競技なので自分のペースで練習に参加でき、無理なく続けられます。

運動経験不問！

歴代の部員のほとんどは相撲経験がなく、全く運動経験のなかった人も少なくありません。新生には、OBや現役部員が相撲のいろはを丁寧に指導するので、心配いりません。昨年度の主将も、国公立大会個人三位などの好成績を残しましたが、高校まで帰宅部でした。

体格不問！

最初から体格や体力がある必要はありません。筋力や基礎体力は、稽古に参加する中で自然についていきます。また、入部してから体重を増やすかどうかは本人の自由です。痩せている人も、体重別大会（65kg・75kg未満級など）で全国優勝を狙えます。体重が軽くても、スピードや多彩な技で相手を翻弄できるのも相撲の面白さなのです。

相撲部で得られる特典

両国国技館で試合ができる！

国技館の主催で相撲が取れるのはもちろんのこと、花道や力士の支度部屋も自由に使えます。試合には学生相撲出身のプロも多数来場します。

未来のプロと相撲が取れる！？

体重無差別の大会では対戦相手がランダムなので、将来プロ入りする力士と対戦できたりします。過去には舞の海、琴光喜、雅山、最近話題になった佐久間山などと対戦したOBがいます。

相撲部屋へ出稽古に行ける！

他大学との合同稽古とは別に、都内の相撲部屋の稽古に参加し、練習後にちゃんこを振舞ってもらったりする機会があります。元横綱朝青龍がいた高砂部屋、元大関栃東が親方の玉ノ井部屋他にも芝田山、大島、峰崎部屋などに稽古に行きました。

大学から始めて優勝できる！

恵まれた環境

なぜ相撲素人の東大生が優勝できるのか—その秘密は、東大相撲部の優れた指導体制にあります。部長、監督をはじめ多くの実績あるOBからの確かな指導を受けられるため、週3回の稽古で強くなることができ、国公立大学でトップクラスの選手になることができます。

相撲未経験者中心の大会がある！

国公立大学の相撲部では、大学から新しく相撲を始めた部員がほとんどで、体格も一般的大学生とさほど変わりません。そうした層を対象とするのが「国公立大学対抗相撲大会」や「旧七帝大対抗戦（七大戦）」で、優勝のチャンスが十分あります。特に、国公立大会は東大相撲部の主戦場の一つです。

部の実績

国公立大会での団体優勝10回、個人優勝10回（7名）をはじめとして、東日本・全国体重別大会入賞者多数（全国優勝者も複数輩出）、七大戦団体2連覇（継続中）など輝かしい実績があります。相撲部での活動を通じて得られた実績や経験、自信は、大学卒業後社会人になっても、大きな財産となるはずです。

相撲部略歴

昨年度戦績

1975年	相撲同好会発足	5月	東日本新人戦	出場：真栄平
1977年	東日本リーグ戦初出場、全国学生相撲選手権大会初出場		全国国公立大会	団体4位
1978年	東日本学生相撲選手権大会初出場、第1回京大戦開催 相撲普及協会の援助で、旧道場完成			(原田、真栄平、山岡、千葉、日野) 個人3位山岡
1981年	運動会加入、「相撲部」になる。	6月	東日本学生相撲選手権大会	団体Bクラスベスト8
1983年	第1回全国国公立大会開催			(山岡、原田、真栄平、千葉)
1989年	後藤雄三、全国体重別大会70kg未満級優勝	8月	七大戦	団体優勝
1993年	江頭快、全国体重別大会60kg未満級優勝			(原田、山岡、真栄平、千葉)
1999年	新道場完成			個人中量級3位真栄平
2001年	第1回七大戦開催			重量級2位原田
2005年	マトウシュ=ペテル、チェコ代表で世界選手権出場			総合2位原田
2006年	櫛原利明OB会長、七段取得	9月	東日本リーグ戦	2部出場
国公立大会	団体優勝10回(含5連覇)、個人優勝10回(7人)		東日本体重別選手権	(山岡、真栄平、千葉、原田、尾崎) 出場：75kg級真栄平
東日本学生相撲選手権大会	団体Cクラス優勝6回			85kg級原田、115kg級千葉
七大戦	団体優勝2回(連覇継続中)、個人優勝3回(2人)		京大戦	団体優勝
京大戦	団体優勝23回、個人優勝20回(17人)			個人優勝原田…3位真栄平
東日本リーグ戦	団体Cクラス優勝6回	11月	全国学生相撲選手権大会	団体Bクラス出場
全国学生相撲選手権大会	団体Cクラス優勝4回			(山岡、真栄平、尾崎、原田、千葉)
	2011.8 七大戦優勝 紋別にて	3月	東日本学生相撲競技会	団体出場(山岡、真栄平)

OBからのメッセージ



勝つ喜び、次への勇気

1990 年度卒部 1989 年全国体重別選手権 70kg 級優勝
経済産業省（現在、独立行政法人新エネルギー
産業技術総合開発機構（NEDO）出向中、北京事務所長）
後藤雄三

ぎりぎりの予選突破。敗者復活戦を乗り切り、何とか決勝トーナメントへ。そこでした3つのこと。
状況分析、身体が動いていない。ストレッチ、身体を緩める、心を緩める。そして力を引き出す。
最後に結果のイメージ。思い浮かべたのは優勝インタビューシーン。フラッシュの瞬きの中で答える自分。
そこから時間を逆回し。勝利の瞬間、ガッツポーズ。技をかけた瞬間、立合いの瞬間。名前を呼ばれて、
土俵に上がる。イメージから今の現実へ。雑念が消える、ハラが決まる、力が漲る。
さあ、後は思い描いた路を辿るだけ。その経験こそが、いま目の前にある壁を乗り越える勇気の素。



相撲をやってて良かったなあ、という話

2002 年度卒部 三井物産 / 相撲部
多賀谷 鉄平（すきま風寮太郎）

社会人でも相撲を楽しめればいいな、と思い会社にて相撲部を立ち上げました。
部の先輩をお願いして部長をやってもらい、同期やら先輩やら後輩やらマネージャーやら 20 人くらい
集めて部を作りました。2005 年に電通相撲部・三井物産相撲部はもちろん、アマチュア相撲家を集め
「どんぶり杯相撲大会」を開催しました。おそらく 100 人程度参加した大会で、
大学等での経験者は 10 人にも満たず、ほぼみな「人生初のまわし」で、非常に活気のある面白い大会でした。
営業の仕事をしておりますが、社内・お客さん問わず相撲の話はととても好評です。
外国人が来た時には必ず両国に連れて行きます。「東大相撲部」ということで、
相撲部屋に出稽古に行ったり、TV にもたくさんでましたし、相撲をやっていないければ
決して出会わない人たちと貴重な出会いがたくさんありました。おそらく三井物産に入ることができたのも、
「東大相撲部」だったからだと思います。面接ではずっと相撲の話をしていた気がします。
もちろん相撲そのもので学んだことも多く、稽古はきつかったけど、今となっては非常にいい思い出です。



Try out sumo

2006 年度卒部 2005 年世界選手権出場
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻特任講師
マトウシュ=ペテル Peter Matous

Anyone who joins the University of Tokyo Sumo Club will enjoy a friendly atmosphere
of this group, become stronger physically and mentally, and thanks to the teaching of
highly experienced coaches will learn to appreciate the unique cultural aspects of sumo
and at the same time become skillful in sumo as a sport. Thanks to the dedicated
guidance of senior club members, many of those who join our club will get to compete
even in national-level competitions.

On top of all this, learning sumo enabled me to peek into very special corners of
Japanese society which I would recommend to experience to all international
as well as Japanese students!

Q&A

Q 相撲の格好に抵抗があるんですが・・・

A 学生相撲では、ほぼすべての試合でまわしの下にスパッツの着用を認めています。普段の練習でももちろん着用OKです。冬季は適宜ジャージを着用するから寒くありません。

Q ケガの心配はありませんか？

A コンタクトのある競技なので多少のけがはつきものですが、ここ数年大けがという大けがをした部員はいません。相撲の目的は相手を叩きつけ痛みつけたりすることではなく、あくまで相手を土俵の外に出すか足の裏以外の部分を地面に接触させることです。

Q 運動部っていろいろお金かかるでしょ？

A 相撲部では、入部費用や用具代がかからないうえ、試合遠征費（年3回程度）にもOB会補助が出ますから、年間活動費用はかなり少なく済みます。練習後の食事もおごりです。

Q 相撲部は厳しい上下関係や飲みが激しいイメージですけど？

A 相撲部の稽古場はとても和やかで、厳しい上下関係は全くありません。一度体験練習会に来てもらえると雰囲気がよくつかめると思いますよ。飲み会は試合後の打ち上げぐらいで、好きな人が好きに飲むだけです。



筋トレ用具

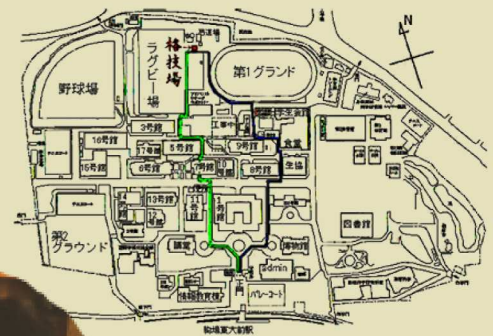


格技場外観



土俵

稽古日程：毎週月水18時～、土15時～、その他各自筋トレ



東大相撲部

検索

<http://dosukoi.net/todai/>
todaisumo@yahoo.co.jp

はっけよい 99号 (新歓特集号)